

交通事故から地域を守る

交通指導隊



交通事故のないまちを目指して

交通指導隊は、交通事故の防止と交通秩序の保持を目的に活動しています。市内を7つの地区に分け、各地区に交通指導隊が配置されており、608人（令和2年10月時点）の隊員が、74の分隊に分かれて任務に当たっています。市内での交通事故件数は、令和2年が2146件と、10年前の平成23年の4864件と比べて大きく減少しており、交通指導隊は交通事故の防止に重要な役割を担っています。

交通指導隊員は、市長から非常勤職員として委嘱を受け、警笛や停止棒などの基本的な使い方を研修で学び、活動を始めます。隊員は、自営業、会社員、主婦、定年退職された方など、職種や年代もさまざま。仕事や家事と両立しながら「悲惨な事故をなくしたい」「子どもたちと顔なじみになり、お礼を伝えられることがうれしい」などの思いをやりがいに、活動に取り組んでいます。

主な活動内容として、月4回、通学路での登下校時の誘導や春・秋の交通安全運動の際の交通指導のほか、仙台国際ハーフマラソン大会や仙台七夕まつりなどの大規模イベント時の歩行者の安全確保も行っています。また、警察や交通安全協会などと連携し、交通安全教室の開催や飲酒運転撲滅啓発運動など、事故を未然に防ぐための活動にも取り組んでいます。

地域に密着し、交通事故が起らないよう、私たちの安全を守っている交通指導隊。交通事故のないまちを目指し、地域の安全を最前線で支えています。

子どもたちの笑顔をやりがいに



北地区交通指導隊
木村 駿介さん

職場の上司に勧められたのがきっかけで入隊して、2年になります。会社も交通指導隊の活動に理解があり、交通指導隊からも仕事を第一にするよう声掛けいただいているので、無理なく活動ができています。

主な活動は、朝、通学路にある交差点での小・中学生の登校時の誘導です。普段、活動する上で大事にしているのは、安全を第一に周囲に危

険がないか、常に確認すること。雪や雨の日は車の量が増えるなど、天候によっても状況が変わるので、注意するよう心掛けています。また、交差点で子どもたちや地域の方から笑顔で「ありがとうございます」「お疲れさまです」などの声を掛けていただいたときに、やりがいを感じています。子どもたちの成長を間近で見られるのもうれしいですね。

交通指導隊は、地域全体の安全を守り、皆さんに安心感を与えられる存在だと思います。仕事との両立も可能だと思うので、ぜひ若い世代の方にも入隊していただきたいですね。

交通指導隊員を募集しています

- 対象＝市内にお住まいか通勤している20歳～69歳の方で長期間にわたって活動できる方〔選考・面接有り〕 ●報酬有り。
- 詳しくは市ホームページをご覧ください
申・問履歴書（写真貼付。市ホームページからもダウンロード可）を郵送または直接持参で区役所区民生活課、宮城総合支所まちづくり推進課、秋保総合支所総務課へ（☎は10ページ）

この特集に関するお問い合わせは、
自転車交通安全課 ☎214・1075、
FAX 214・1091